

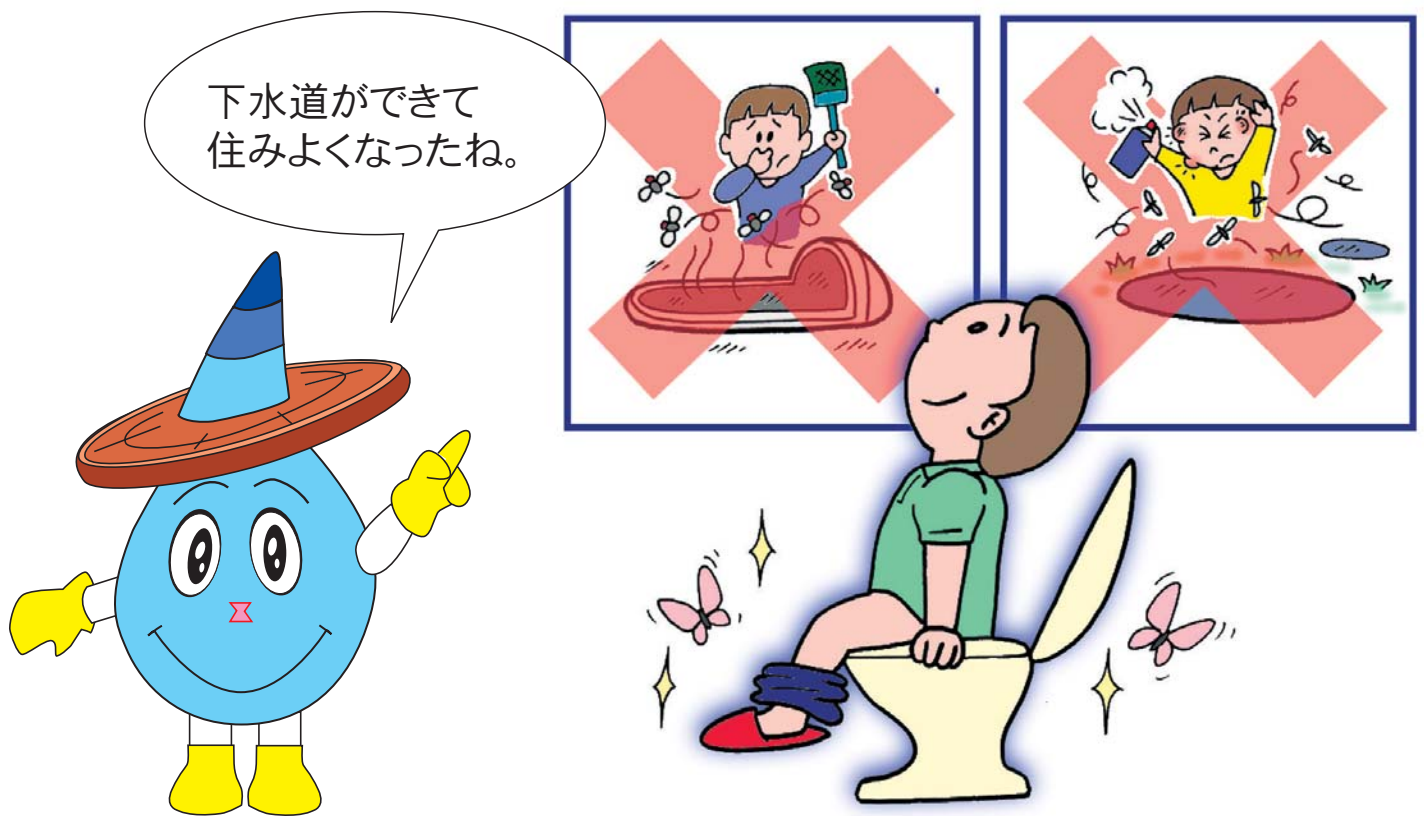
7 下水道ってなんだろう？

－ 下水道の4つの役割 －

下水道とは、わたしたちの生活から出る汚水（使って汚れた水）を下水道管を通して、下水処理場へ集め、きれいにしてから川や海に返すしくみです。

では、下水道はいったいどんな役割をもっているのでしょうか？

① 住みよい環境を作る



下水道があると、使った水はすぐに下水道管に流れます。ですから、汚水が家のまわりに溜まらず病気の原因となるハエやカの発生を防ぎ、住みよい環境を作るのに役立ちます。

② 川や海を汚れから守る (水質保全)



汚水を川や海に直接流さずに、きれいにしてから返すので、川や海が汚れるのを防ぎます。

③ 大雨に強いまちを作る (浸水防止)



大雨が降ったときでも、雨水を下水道管で流してしまうので、町の中が水びたしになるのを防ぎます。

ビルや家が建ったり、道路や駐車場がアスファルトなどで舗装されると、降った雨は土にしみこまず、一度にたくさんの雨が道にあふれ出し、浸水（水につかる）災害が発生しやすくなります。

浸水のない安全な町をつくるため、上下水道局では大きな雨水管やポンプ場を造り、す早く雨水を川に放流しています。



台風による浸水 下地町
1990年(平成2年)9月



しもじ
下地ポンプ場
2005年(平成17年)3月



しもじ うすいせんせんちよつげい
下地雨水幹線 直径3.0m
2001年(平成13年)12月



うすい
雨水ポンプ
大雨のとき、雨水をす早く汲み上げて
川に放流します。

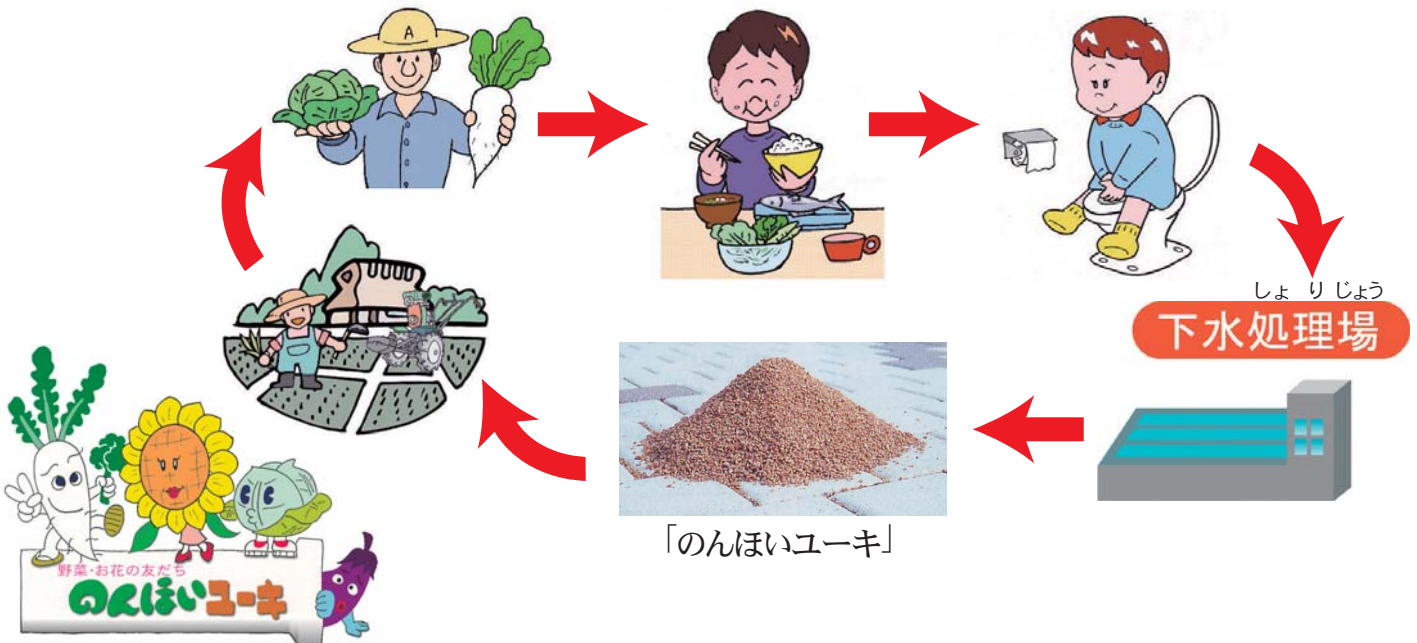
④ リサイクルする

汚水をきれいにしたあとに出た汚泥(おもに微生物が沈んだ泥)や処理水(汚水をきれいにした水)は、別のことにまた使うことができます。このことを「リサイクル」といいます。さて、どのようにしてリサイクルされているのでしょうか。

(1) のんほいユーキ

下水処理場で出てくる汚泥は、野菜や花の生長に役立つ栄養分をたくさん含んでいます。豊橋市では、この汚泥を「のんほいユーキ」と名づけました。畑や家庭菜園などの肥料として、多くの方に広く使っていただいています。

平日に中島処理場へ取りに来て、家で利用してください。



(2) 処理水のリサイクル

下水処理場できれいにされた処理水は、街路樹や公園の花壇の水まき用に利用されます。



ユーキって何?ユーキは有機のこと。有機肥料とは動物・植物からできた肥料。